

【「1分で理解できる解答」の書き方」の考え方で解答を書くための手順】

1. 「1分で理解できる解答の書き方」の考え方で解答を書くための手順

以下に示した手順1から手順5が、「1分で理解できる解答の書き方」の考え方で解答を書くための手順です。

- ◆手順1：問題を読む
- ◆手順2：論文（答案）の見出しを考える。
- ◆手順3：問題に対する解答の要点を考える。
- ◆手順4：解答の要点に関する説明（要点の説明）を考える。
- ◆手順5：「内容が明確に伝わる文」で解答の要点と要点の説明を答案用紙に書く。
 - * 解答の要点と要点の説明を正確に文に変換する。
 - * 解答の要点を解答の冒頭に書き、要点の説明をその後に書く。

2. 手順の内容

2.1 手順1

手順1は、「問題を読む」です。問題の中の重要な内容にアンダーラインを引きながら問題を読むと問題の内容を確実に理解できます。また、「解答すること^{注1)}」にアンダーを引くと解答することが明確になります。

注1)：解答することとは、問題の中で問われていることです。

2.2 手順2

手順2は、「論文（答案）の見出しを考える」です^{注2)}。見出しを考えたときのポイントは、「解答すること」を見出しに入れることです。また、解答することを見出しに入れたときには、解答することを主語とした文を書きます。ただし、解答することを主語とした文を書く書き方は、必須科目、選択科目での応用能力および問題解決能力及び課題遂行能力に適用します。選択科目での専門知識は適用外です。

注2)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の『「1分で理解できる解答」の書き方』に関する補足説明・その2」の資料を参照のこと

2.3 手順3

手順3は、「問題に対する解答の要点を考える」です。解答の要点を考えるうえで重要なこ

とは解答の要点を簡潔に考えることです^{注3)}。簡潔に考えることで解答の要点が頭の中で明確になります。

注 3)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「解答の要点を簡潔に考える」の資料を参照のこと

2.4 手順4

手順4は、「解答の要点に関する説明（要点の説明）を考える^{注4)}」です。要点の説明を考えるうえで重要なことは、要点の説明として、解答の要点を理解してもらう内容を考えることです。つまり、解答の要点をしっかり支えることができる要点の説明を考えることです。

注 4)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「要点の説明＝解答の要点を支えるもの」の資料を参照のこと

2.5 手順5

手順5は、「『内容が明確に伝わる文^{注4)}』で解答の要点と要点の説明を答案用紙に書く」です。試験では、頭の中に浮かんだ解答の要点と要点の説明を問題用紙の空きスペースに書き出します。頭の中だけで文に変換すると誤変換する可能性があるからです^{注5)}。

また、「1分で理解できる解答の書き方」の考え方で解答を書くので解答の要点を解答の冒頭に書き要点の説明をその後に書きます。

注 4)：「内容が明確に伝わる文」とは次頁の表の中の「ルール6：明確に伝わる文を書く」のことです。

注 5)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「日常業務の中で“文に変換する力”を鍛える」の資料を参照のこと

3. 解答の書き方を事前に決める

解答の書き方を事前に決めることは、「解答の書き方の型」を事前に決めておくことと同じです。解答の書き方の型を事前に決めておけばこの型に入る内容を考えれば解答が完成します。解答の書き方を事前に決めることも時間内で解答を書くための方法の一つです。

【6つのルールと18の書き方】

ルール		書き方と内容	
ルール1	冒頭に書く	書き方1	要点を冒頭に書く
		書き方2	全体像を冒頭に書く
		書き方3	枠組みを冒頭に書く
ルール2	ペアで書く	書き方4	根拠を書く
		書き方5	条件を書く
ルール3	分けて書く	書き方6	かたまりに分けて書く
		書き方7	箇条書きで書く
		書き方8	表で書く
ルール4	視覚的に書く	書き方9	写真や図を入れて書く
		書き方10	強調して書く
		書き方11	まとまりを持たせて書く
ルール5	合わせて書く	書き方12	組み合わせで書く
ルール6	明確に伝わる文を書く	書き方13	具体的な文を書く
		書き方14	意味が明確な文を書く
		書き方15	能動態の文を書く
		書き方16	短い文を書く
		書き方17	肯定文を書く
		書き方18	文法を守って文を書く

【参考図書】

森谷仁著, 「マンガでわかる技術文書の書き方」, オーム社, 令和4年3月25日

以 上